



2010.7.12
第142号

発行
村会 支会 会会
町員 津支 支支
市協議 会津 支支
県委 会津 支支
島育 会津 支支
福教 北耶 支支

編集
福島県教育庁
会津教育事務所

編集協力
小・中学校長会

「教育立地・会津」



会津教育事務所
所長 会田 智康

「教育立国」を改めて宣言しているのは、国の教育振興基本計画である。「人づくりこそが個人の幸福の実現と国家・社会の発展の礎であり、我が国の将来の発展の原動力たり得るものは人づくり、すなわち教育を置いてほかにない。」という文言からは、我が国の教育をめぐる現状についての危機意識と、課題解決への強い意志が伝わってくる。

「会津は一つ」という言葉をよく聞く。行政的または経済・産業的な視点で使われることが多いようだが、この言葉からは、共通の歴史・文化・自然等を持つ

つ人々の、互いのつながりと、地域への愛着が感じられる。しかし、それだけではない。会津地域共通の課題に対して、一致団結して取り組むことが必要だという考え方もそこには込められているのではない。そのような使い方がされる場合、次に解決策の一つとして人づくりが挙げられることが多い。

会津地域共通の課題は、教育に携わる立場から見ても、決して他人事ではない。少子化・過疎化による学校の小規模化、高校卒業生の就職難などは、教育にとっての大きな課題である。つまり、会津の教育は、環境

的に厳しい条件も担いつつ、周囲から大きな期待もかけられている状況にあると言えるのではない。よほどの覚悟が必要である。

本県においては、この三月に第六次福島県総合教育計画を策定した。そこに示されている各種施策を確実に実施して、成果を上げていくことが求められている。加えて、域内においては、地域の課題を踏まえ、目標を高く持って教育活動に取り組み、会津の子どもたちに、より一層向上心を持たせ、努力させていくことにつながる。

会津の教育の強みは、会津人の実直で粘り強い気質であり、互いのつながりであり、人づくりに重視の姿勢である。「教育立地（域）・会津」の志で会津の教育に取り組んでいきたい。



平成二十二年 管理関係重点事項

一 人事管理の適正化と学校組織の充実・活性化

- 特色ある学校づくりにつなげる人事事務の適正化
- 少人数教育による人事配置を生かした個に応じたきめ細やかな指導の充実

- 教職員目標管理制度の活用による意欲と資質の向上
- 管理訪問等を通しての学校経営の支援

二 学校事故、不祥事未然防止

- 教職員の服務・勤務体制の確立と危機管理意識の高揚
- 冊子「信頼される学校づくりを 職場の力で」やチェックシート等の活用により、不祥事防止に対する当事者意識を高めること。

- 交通事故の防止
- 速度超過や交通加害事故、酒気帯び運転を未然防止するため、安全運転への声掛けやゆとりある運転等に一層心がけること。

- 負傷事故の防止
- 事前の準備運動や周囲の環境に十分配慮すること。
- わいせつ・セクハラ、体罰等不祥事の防止
- 教育公務員としての使命感と倫理観の高揚を図るとともに、互いに何でも相談し合える職場環境づくりに努めること。

- 学校火災・盗難事故の防止
- 校舎内外の整理整頓、校舎周辺の可燃物の撤去を徹底し、施錠確認を確実に行うこと。
- 施設設備の安全管理
- 防火設備等の操作方法と係分担等を全教職員に周知し、学校プールの管理運営についても、夏季休業中の指導を含め事故の未然防止に努めること。
- 個人情報等の適正管理
- 各種情報の管理について内規の共通理解を図り、漏洩や流出を防止すること。

平成22年度社会教育重点事項

地域の教育力向上の支援

- 放課後子どもプラン（放課後子ども教室）
 - 対象（9市町村 27教室）
 - ・会津若松市（7教室）・喜多方市（4教室）
 - ・西会津町（5教室）・会津坂下町、会津美里町（各3教室）・柳津町、金山町（各2教室）
 - ・三島町（1教室）・湯川村
 - 内容
 - ① 放課後や週末等における安心安全な活動拠点（居場所）を確保する。
 - ② 地域において、子どもたちに様々な体験・交流・学習活動の機会を提供する。
 - ③ 社会性、自主性、創造性等の豊かな人間性を涵養する。
 - ④ 地域の子どもたちと大人の交流による地域コミュニティの充実を図る。
 - ⑤ 地域の中で安心して健やかに育まれる環境づくりを推進する。
- 学校支援地域本部事業
 - 対象 西会津町
 - 内容
 - ① 学校の様々な活動を地域住民がボランティアで支援する。
 - ② 地域の大人が関わることで多様な体験の機会が増え、規範意識やコミュニケーション能力の向上などの効果が期待される。
 - ③ 教員が教育活動により一層力を注ぐことができるようになり、学校教育の充実を図ることができる。
- 体験活動・ボランティア推進センター事業
 - 内容
 - ① 学校や社会教育施設などにおける地域人材の積極的な活用を推進する。
 - ② 活動を支援する人材の情報提供に関する体制を整備し、活動の活性化を図る。

学校図書館を応援します

- 対象 小・中・高、図書館及び公民館図書室
- 内容
 - (1) 授業や課題研究、進路の手助けとなる関連図書（40～50冊）の「セット貸出」を行います。
 - (2) 各セットの内容、手順等については <http://www.library.fks.ed.jp/ippan/schoolset/index.html> を参照してください。

青少年教育の充実

- 十七字のふれあい事業
 - 対象 親子等
 - 主な内容
 - ① 大人と子どもが共通の体験から得た感動などを十七字で表現した作品を募集する。
 - ② 募集期間及び方法
 - ア 7月～9月末
 - イ 各学校、各教委等に備え付けの応募用紙またはホームページよりダウンロードする。
 - ③ 詳細 <http://www.pref.fks.ed.jp/index.html>
 - 子どもの読書活動推進事業
 - 主な内容
 - ① 学校、地域において読書活動の一層の推進を図るほか、家庭での読書活動の取組みへの働きかけを行う。
 - ② 「子ども読書推進計画」の策定が進むよう働きかけ、家庭と地域が一体となって読書活動が推進されるようにする。
- ※ 資料
（平成21年度「読書調査」会津域内より）
- 1か月の読書冊数（平成21年11月）

選 択 肢	小学校	中学校	全 体
0 冊	2.8%	20.0%	7.0%
1 冊	5.4%	24.2%	10.0%
2 冊	8.9%	21.3%	11.9%
3 冊	11.1%	14.4%	11.9%
4 冊	9.4%	6.8%	8.8%
5 冊	9.7%	4.8%	8.5%
6 冊	5.9%	2.4%	5.0%
7 冊	6.1%	1.4%	5.0%
8 冊以上	40.7%	4.7%	31.9%
平均読書冊数	8.6冊	2.2冊	7.0冊

- ② 読んだ本を手に入れた方法

選 択 肢	小学校	中学校	全 体
学校図書館を利用した	66.0%	15.5%	55.4%
公共図書館を利用した	6.3%	2.5%	5.5%
友達から借りた	3.2%	12.5%	5.2%
自分で買った	18.4%	59.4%	27.0%
その他	6.1%	10.1%	6.9%

平成22年度 学校教育重点事項

会津の教育の重点

1 「確かな学力」の向上

【学力向上グランドデザインに掲げた「目指す児童生徒」の増加を目指す】

- (1) 子どもの学びの姿をもとにした授業の構想
- (2) 目的や意図を明確に押さえた言語活動の位置付け

2 豊かな人間性・社会性の育成

【「自分のよさ」を実感し、人やものとのかかわりを大切にできる児童生徒の増加を目指す】

- (1) 内面に根ざした道徳性を育てる体験活動・話し合いの充実
- (2) 人間関係を構築する力を育てる集団活動・話し合いの充実

3 体育・健康に関する指導の充実

【「体力の向上や健康」を実感できる児童生徒の増加を目指す】

- (1) 実態に即した計画に基づく体力づくり、食育、保健・安全指導の充実

4 特別支援教育の充実

【すべての幼児・児童生徒の育ちと学びの保障】

- (1) 「個別の指導計画」に基づく指導の充実
- (2) 関係機関と連携した「個別の教育支援計画」の作成と活用

5 積極的な生徒指導の推進

【すべての幼児児童生徒にとって「通うのが楽しい学校づくり」】

- (1) 自己肯定感を高める取組みの充実

6 開かれた学校づくりの推進

【評価活動を生かした学校経営・運営の推進】

- (1) 特色ある学校づくり・教育内容の質的充実

7 教職員の資質・指導力の向上

【修養に努め、何事も前向きに実践しようとする教師】

- (1) 保育・授業力、幼児・児童生徒の理解力向上
- (2) 教師間の学び合いを通じた指導法の工夫改善

8 男女共同参画社会実現への取組み

【人権尊重を基盤にした男女平等教育の推進】

- (1) 学校の課題の明確化と学習教材等の積極的な活用

9 環境教育の充実

【地球環境問題への意識高揚】

- (1) 地域の環境保護に関する活動の充実

授業改善のための「定着確認シート」活用実践事業

本年度からの新規事業（3年間の予定）

1 趣旨

短いサイクルで点検・評価・改善を図るシステムの構築・運用・定着のため

2 「定着確認シート」の内容等

(1) 対象学年、教科

- 小学校4～6年の国語、算数
- 中学校1、2年の国語、数学、英語

(2) 問題数等

- 小問20問程度
- 本年度は、6月より年5回実施

(3) 問題掲載HPアドレス

<http://www.shidou.fks.ed.jp/>

3 使用方法等

- (1) 各学校においては、そのまま利用することもできるし、改題して使用することもできる。
- (2) 授業改善のために、目標値、県平均との比較により自校の課題を把握し、指導の弱点補強と分析を活かした指導の改善に役立てる。

4 会津域内での「サンプル調査校」について

- (1) 会津域内すべての小・中学校が、3年間の事業期間の内、一度は、平均正答率算出のための「サンプル調査校」となるようにする。

学びの習慣を育てる事業

(1) 本年度支援校

小学校10校、中学校4校

(2) 家庭学習プログラム開発校（本年度のみの単年度事業）

- 裏磐梯小・中学校に委託

平成22年度 会津域内研究公開校 紹介

No.	公開予定日	学 校 名	研究教科等	備 考
1	9月8日(水)	猪苗代町立東中学校	数学	町教委指定学力向上推進事業
2	9月10日(金)	西会津町立尾野本小学校	国語	町教委指定学力向上推進事業
3	9月29日(水)	西会津町立新郷小学校	算数	自主公開
4	10月8日(金)	西会津町立野沢小学校	算数	町教委指定学力向上推進事業
5	10月22日(金)	喜多方市立第二小学校	国語・理科	自主公開
6	10月27日(水)	北塩原村立さくら小学校	国語	村教委指定「学びの指導」
7	10月29日(金)	会津若松市立鶴城小学校	国語・算数・体育・道徳 学級活動・特別支援	自主公開
8	11月12日(金)	会津若松市立門田小学校	国語・算数	自主公開
9	11月12日(金)	会津坂下町立金上小学校	国語・算数	町教委指定学力向上推進事業
10	11月17日(水)	会津美里町立高田中学校	(未定)	町教育研究会指定
11	11月19日(金)	喜多方市立第一小学校	国語・算数・特別支援	自主公開
12	11月19日(金)	湯川村立笈川小学校	国語	村教委指定学力向上・教育セ協力校
13	11月19日(金)	柳津町立西山小学校	算数	町教委指定
14	11月26日(金)	会津美里町立本郷第二小学校	国語	町教育研究会指定
15	11月30日(火)	昭和村立昭和小学校	(未定)	村教委指定

(2学期以降の公開予定)

福島県道徳教育地区別推進協議会

学習指導要領の趣旨並びに児童生徒、学校、家庭及び地域等の実態を踏まえ、創意工夫を生かした道徳教育を推進するための実践研究を行い、その成果を普及する。

■ 参加対象

- 各地区の小中高等学校の道徳教育推進教師等
- 保護者、地域住民、関係機関・関係団体等

■ 各地区年1回開催

■ 内 容

- ①「道徳の時間」の授業研究会、道徳教育推進協議会メンバー等による模擬授業や保護者を対象とした道徳の授業実践
- ②道徳教育指導者養成研修(中央・ブロック研修)受講者・学識経験者等による講義・演習協議等
- ③推進校及び研究先進校等の実践報告
- ④「ふくしま子ども憲章」を活用した授業の調査研究

今年度は以下のように開催する予定です。

- テーマ 「家庭・地域で育む道徳教育」
- 日 時 平成22年12月2日(木)
- 会 場 柳津小学校・やないづふれあい館
- 参加対象

会津・南会津地区の小中高等学校の道徳教育推進教師等および地区在住の保護者代表(今年度は全校および全市町村の1/3を対象とします。)

□ 内 容

- ・ 道徳の時間の授業参観(柳津小学校)
- ・ 授業およびテーマに関する研究協議
- ・ 中央研修の伝達講習
- ・ 講 演

※ 近くなりましたら、詳細をご案内します。

『少子化』と『学校教育』

磐梯町教育委員会教育長 齋藤 就治



「少子・高齢化」が指摘されてから久しい。この傾向は、近年益々顕著になってきている。特に、「少子化」が激しい勢いで進行している現在、各市町村においては、今後の幼児教育・学校教育の在り方が大きな課題となっている。

「学校施設数の適正化」等色々の名称に基づいて行われている議論は、結論としては、現在ある幼稚園や学校を統合するのかもしれないのかということであり、話題に上らない市町村はない。

何のために学校等を統合するのか、各市町村での率直な理由は二つに収斂できるように思える。学校に一定の児童生徒数を確保することと、財政効率を高めることである。

現在、磐梯町はこの二つ以外の理由も含めて、当面学校統合はしないという方向で教育行政を進めている。それは、地域における学校の歴史的な存在を大切にするとともに、困難であっても、人口増に取り組み児童生徒数を増やそうとする町全

体の施策の中で、「魅力ある幼稚園・学校教育」の創造が、幼児・児童生徒数増加の可能性を内包していると考えているからである。

学校は、学校だけでその存在を続けてきた訳ではない。特に義務教育は明治以来地域や保護者の学校に対する圧倒的な想いとサポートにより、その存在を確固たるものとしてきた。何とかしてこのような歴史的な想いを継続する中で、磐梯町に住んでみたいと思って頂けるように「魅力ある幼稚園・学校教育」の創造に現在取り組んでいる。「幼・小・中一貫教育」や「英語活動・教育の充実」等がそれであり、特に若者世帯の増加や子供達の増加につながることを夢見て、関係者の方々とともに今後も努力をしていきたいと考えている。

我がまちからの情報発信

猪苗代町教育委員会

国道49号線を郡山方面に向かい、長瀬川に架かる小金橋の手前を直ぐ右に折れる。小平瀧集落を通り過ぎて、右手に磐梯山を眺め湖水の方向に少し歩くと大きな石の鳥居が見えてくる。菅原道真公を祭る小平瀧天満宮である。

昔の祭礼には、多くの出店、屋台が立並び、近郷近在からの大勢の人々で賑わったものである。今昔の感を禁じえないが、それでも冬場の受験期には、方々からの合格祈願の絵馬が神社の絵馬掛けに溢れる。

ここは、野口英世博士が生まれた三城瀧とも近く、四季を通して猪苗代町内でも一種独特の雰囲気を感じさせるエリアである。

室町の頃、一人の天才歌人がここで生まれた。猪苗代兼載である。兼載が生まれて十数年後、京で応仁の乱が起こり世は戦国時代に突入する。

兼載は、理由は定かでないが6歳の時若松の自在院というお寺にやられ早期に出家した。やがて京に上り心敬らの教示を受け、当時一流の歌人飯

尾宗祇とも交わった。39歳で京都北野連歌会所奉行及び師匠になった。「新撰菟玖波集」の編集にも参加した。50歳で関東を下り、下総国古河で没している。その出自は、猪苗代城に抛り耶麻郡の東半分を統治した中世猪苗代氏の流れといわれるが、確証はない。

今年、県のサポート事業の予算がつき、猪苗代兼載の顕彰事業に小平瀧区が当たることになった。今年兼載の没後500年にも当たり様々なイベント等が予定されている。

草深い田舎に生まれ、歌一つで戦国の世を生き抜いた兼載の生きざまから、何をどう読みとるかが大切であろう。

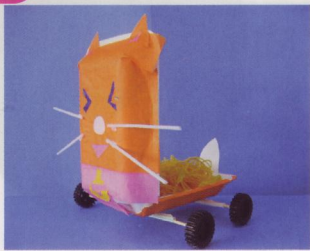


「小平瀧天満宮」

作品と指導

工作

『ニャン
パスタ
カー』



会津坂下町立広瀬小学校
3年 石川 智絵

タイヤをつけて走るしゅくみを生かし、自分なりの発想で、動くおもちゃを作りました。

前は猫の顔にして、胴体にはおいしいパスタが積んであります。うちわであおぐと、顔の後ろに風を受け、勢いよくぐんぐん走ります。

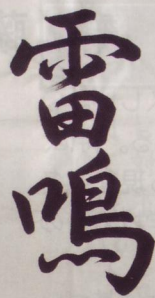
指導者 阿部 廉子

習字

喜多方市立第二中学校
3年 松崎 菜々子

『雷鳴(らいめい)』

松崎 菜々子



書写の指導にあたっては、大学時代に指導を受けた教授の言葉を思い出し、生徒に伝えるようにしています。

白い部分のバランスに気を配ること、筆の特性を生かすため、素直な運筆を心がけることの二点です。

指導者 石田 宏志

絵

『たのしかったよ
みずあそび』



会津若松市立永和小学校
1年 木津 那月

家族と親戚でプールに行っても楽しかった思い出を絵にしてくれました。一番描きたかったウォータースライダーに乗る自分を大きく描き、周りの友達や景色も、丁寧に表現できています。楽しい雰囲気伝わってくる絵です。

指導者 星 清智

湊地区は、豊かな自然と、子どもを地域の宝として地域全体で育てようとする昔ながらの会津の精神が残っている地域です。そのため、生徒は、あいさつなどとても礼儀正しく、また、何事にも一生懸命に取り組んでいます。このような恵まれた湊中学校で、新任校長としてスタートできたことに、とても喜びを感じています。

さて、今、学校では、確かな学力をはじめとする「生きる力」を育むこと、自校の課題を踏まえた教育活動を実践し、その課題を解決すること等、多くのことが求められ、校長としての重責を感じています。そのような中、生徒のために頑張るスタッフとともに、生徒一人一人の自己実現をめざして、組織的で着実な実践を大切にしたい学校づくりを進めていきたいと考えています。



会津若松市立湊中学校
校長 唐司 和彦

組織的で着実な実践を大切に!

私の抱負

新任教頭として
初心忘れず



西会津町立奥川小学校
教頭 井上 明浩

四月一日、新任教頭として着任しました。初めての教頭職、初めての西会津、不安と緊張の中スタートしました。そのような中、校長先生を始め、職場の先生方、明るく元気な十四名の子どもたち、そして、温かく協力的な保護者の方や地域の皆様に支えられ、どうか自分なりに頑張っているところと、とても感謝しております。

この奥川地区は、大変教育に熱心で、「地域の子どもは地域で育てる」という現在の教育界の大きな課題に、地域全体で取り組んでいる所です。そのためにも、子どもの思い、保護者の方の願い、地域の皆様の信頼に答えられるよう、校長先生のご指導の下、今後とも初心を忘れずに、努力していきたいと思えます。



湯川村立勝常小学校
川村 国央

子どもたちと共に

「おはようございます!」 爽やかな朝に響く明るい声。子どもたちの元気な姿に出会うことから私の一日が始まります。返す言葉にも自然と力が入る毎日です。

この四月、新採用で勝常小学校に赴任しましたが、浜通り出身で歴史に興味がある私にとって、会津は特別な場所であり、ここに赴任できたことを大変うれしく感じています。

さて、日々の学習や行事を通し、担任している二年生十九名と過ごすこと早三か月。家庭と連携を図りつつ、教えるべきことはしっかり教え、考えさせるべきことは同じ目線に立って共に考え、子どもたちの伸びようとする力を全力でサポートしていきたいと思っています。

「さようなら!」 明日も子どもたちの声が楽しみです。